

医工学連携の協力推進 に関する協定書 趣旨説明

平成26年5月23日
飯塚市 経済部

人が輝き まちが飛躍する 住みたいまち 住みつづけたいまち



飯塚市

IIZUKA CITY Official Web Site



医工学連携推進における取組み

これまでの取組み

【新産業創出ビジョン2013～2017】

～人と産業が集まり成長するまち～

- ◆産学連携による産業創出・課題解決型のビジネス創出
- ◆人材・情報・技術・企業 が集まるまち

重点プロジェクト
～医工学連携の推進～

医工学連携の協力推進に関する協定

H23.12.19 飯塚病院×九州工業大学×飯塚市

これからの取組み

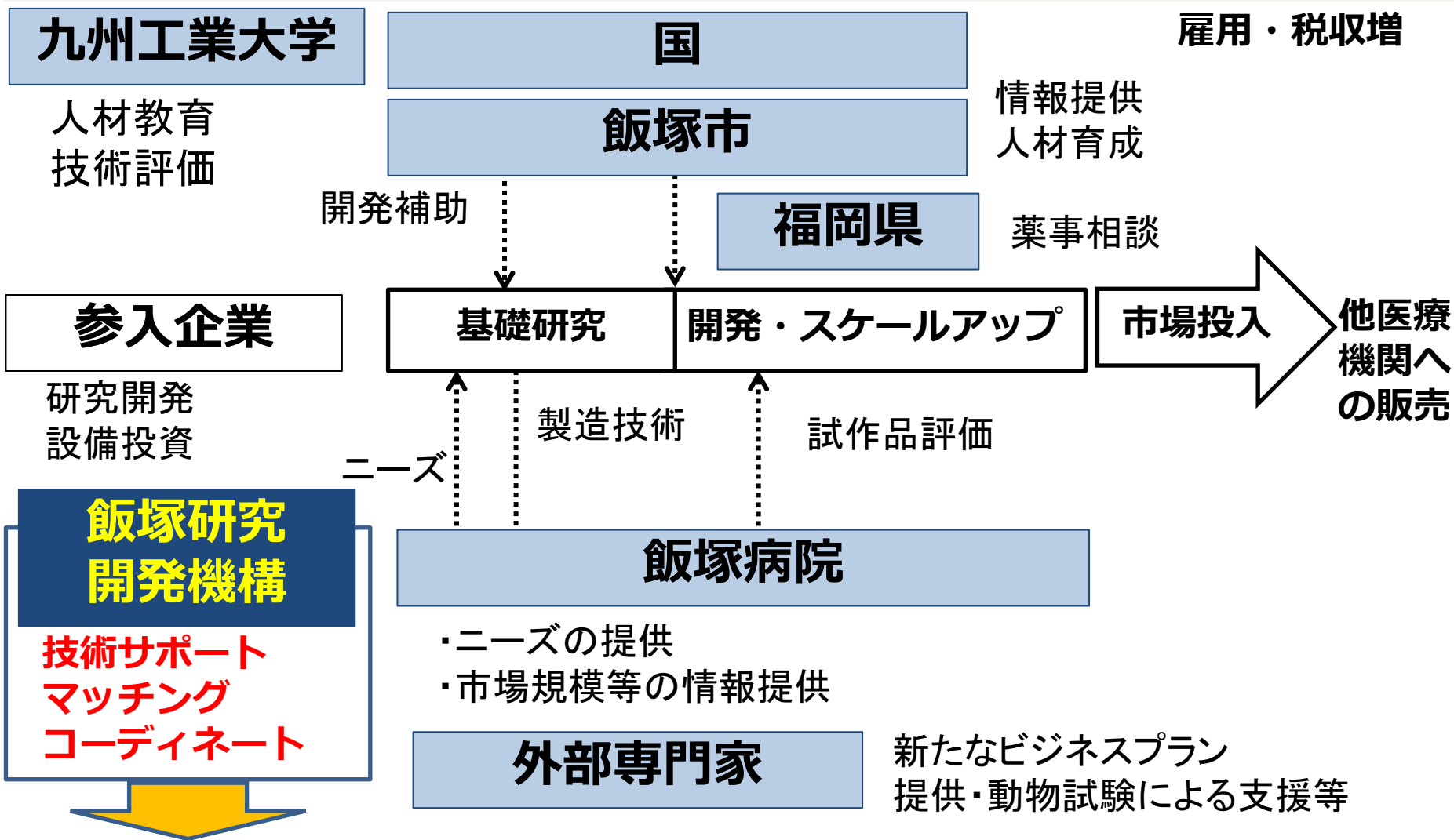
本日締結する **4者による協力推進協定** により

- ◆医療分野の発展(医療サービスの質向上)
- ◆地域社会及び産業の発展 (関連分野への参入)

を目指す

H26.5.23 飯塚病院×九州工業大学×飯塚市×飯塚研究開発機構

参入企業と医療機関への橋渡し機能を担う飯塚研究開発機構



企業と病院の異なる業種情報を翻訳することができる優秀な専門家集団を保有する飯塚研究開発機構が協定に加わることにより地域企業の参入が加速していく。

協定内容について

構成項目

研究交流

競争的資金獲得

共同研究

事業化共同体制形成

人材育成・交流

その他

 新たに追加した項目

1. 研究交流

医療現場における課題・ニーズと大学のシーズの情報共有、意見交換及びマッチングを今後も継続して実施してまいります。

更に、医療関連産業参入の課題解決を図るため、専門家を招聘したシンポジウムや勉強会を開催いたします。

2. 共同研究

医療現場から出てきたニーズと地域で保有する技術を摺合せながら、有望なテーマを選定し、事業化の可能性を検討、実証していきます。

3. 人材育成及び交流

九州工業大学メディカルインフォマティクスセンターと連携し、医療情報工学分野の技術者を育成してまいります。

更に、薬事法、ISO認証等に関する勉強会や医療現場の見学会を充実させ、地域企業が医療関連産業へ参入しやすい環境を整備いたします。

4. 競争的資金の確保

共同研究の製品化・実用化に向けて、国県等の競争的資金獲得を目指していきます。

国県及び各支援機関等と連携を密にしながら公募案件の情報収集及び提供に努めるとともに、申請書作成のサポートも実施していきたいと考えております。

5. 事業化共同体体制形成

医療現場のニーズ・課題等に基づく製品化・事業化に向けた地域企業の参入促進のための体制作りを実施してまいります。

【今回追加項目】

5. その他必要と認める事項

関係機関による推進組織を立ち上げ、共同研究プロジェクトの進捗管理やシーズ・ニーズのコーディネートなど、医工学連携の円滑な実施を図ってまいります。

推進組織の名称について

飯塚医療イノベーション推進会議

飯塚病院

九州工業大学

飯塚研究開発機構

飯塚市

研究交流

競争的資金獲得

共同開発

事業化共同体制形成

人材育成・交流

その他

協定締結者（敬称略）

◆飯塚病院 院長 田中 二郎

◆国立大学法人九州工業大学
学長 松永 守央

◆飯塚市 市長 齊藤 守史

◆公益財団法人飯塚研究開発機構
理事長 渡辺 顯好